

登録No.
登録名
催吐性リスク
適応疾患
投与スケジュール

S-128
Sacituzumab govitecan療法
高度
乳癌

| | 薬剤 | 投与量 | 最大投与量 | 投与日 | 投与経路 | 投与時間 | 備考 |
|------|--|--|-------|------|--------|---|-------------------------------|
| Rp.1 | アトアミフェン静注液1000mg ¹ ヅグ | 500mg/body | | d1・8 | d.i.v. | 15分 | |
| Rp.2 | パロリセト0.75mg ¹ ヅグ デキサメタゾン マリン酸カルフェラシ ファモチジン ホスネツピタント | 50mL/body 9.9mg/body 5mg/body 20mg/body 235mg/body | | d1・8 | d.i.v. | 30分 | |
| Rp.3 | 生食 | 100mL/body | | d1・8 | d.i.v. | 1-2回目は経過観察 経過観察：30分 3回目以降は前後フラッシュ 全開 | サシツズマブ・ゴビテカン 前後フラッシュ&経過観察用 |
| Rp.4 | サシツズマブ・ゴビテカン 生食 | 10mg/kg 250mL/body | | d1・8 | d.i.v. | 初回180分 忍容性良好であれば 2回目以降60分まで 短縮可 | 遮光投与 |

1クールの期間
標準クール数
最大クール数
休薬期間の規定
投与間隔短縮の規定
その他（副作用・PS規定等）

3週間

P.Dまで

PS：0-1

患者選択基準：タキサン系抗悪性腫瘍剤の治療歴のある患者に使用
ホルモン陰性かつHER2陰性（IHC：0、1+、2+→Fish陰性）の手術不能または再発乳がん患者に使用
Neutr>1,500/ μ L、Plt>10万/ μ L、Hb>9g/dL、Ccr>60mL/min
AST/ALT \leq 2.5 \times ULN（肝転移がある場合： \leq 5 \times ULN）、T-Bil \leq 1.5 \times ULN、Alb \geq 3g/dL
全ての毒性がG1以下（脱毛症及びニューロパチーを除く〔G2以下〕に回復している

各サイクルの投与基準：d1 Neutr \geq 1,500/ μ L、d8 Neutr \geq 1,000/ μ L、G3の血液毒性、非血液毒性を認めない
減量：1段階：7.5mg/kg 2段階：5mg/kg 3段階：中止

副作用：骨髄抑制、消化器症状、肝機能障害、心臓障害、腎機能障害、血栓塞栓症、腸閉塞、消化管穿孔、消化管出血、間質性肺炎
アナフィラキシー、infusion reactionなど

注意事項：調製後の最終濃度：1.1mg/mL～3.4mg/mL